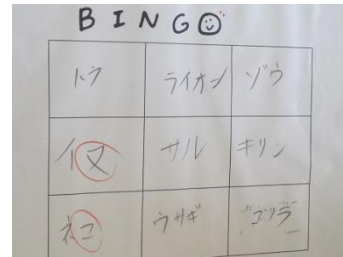


## 第2回 津島市立南小学校での英語の授業！

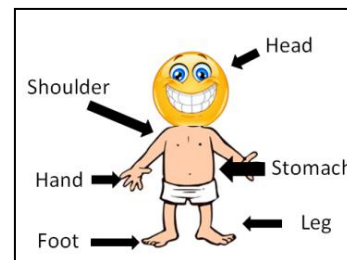
11/10(金)

11月10日(金)、あいちスーパーイングリッシュハブスクール事業の一環として、本校の国際理解コース3年生の生徒9名が小学校6年生対象に、2回目の出前授業(14:50~15:35)をしました。

南小 組名	本校 生徒	授業内容		
		導入(5~10分)	展開(30分)	まとめ(5~10分)
松組	津村 太田 山田	5つのグループでジェスチャーゲームを行う。グループ内の一人がジェスチャーをし、それを他の児童が当てる。答えは英語で表現する。	・ブラックボックスゲーム 各グループ箱の中にモノを入れておき、手で触ることにより何が入っているか当てる。ヒントは英語。 ・イマジネーションビンゴ 各グループにそれぞれビンゴシートを渡し各児童が想像するものをビンゴシートに記入。	展開で用いた表現をもう一度復習する。



竹組	濱島 久保田 高見	授業者は児童に身体のパーツを英語でどういうか教えておく。最後に音楽に合わせて復習する。	・漫画等のキャラクターの顔から、首、肩など順番に身体全体のパーツを見せてそのパーツを英語で説明する。 ・大きなグループをつくる。予め授業者が用意した英文を児童が見てキャラクターを推測。(ヒントは30秒ごとに日本語で説明)	体のパーツについて、音楽に合わせて復習する。
----	-----------------	---	---	------------------------



梅組	寺澤 角田 川田	じゃんけん(英語で) ・他者紹介(英語で、生まれた月、血液型等)	・授業者が映画やアニメのストーリーや登場人物の特徴等を英語で言い、グループごとに答えを共有して答える。(一人の児童が勝手に発言しないように) ・グループ内で動物のジェスチャーゲーム。	展開時とは逆に、作品を見せてどういう内容であったか、または、登場人物の特徴を英語で表現する。
----	----------------	-------------------------------------	--	--



- ・He always puts on glasses.
- ・He can solve the mystery of the murder.
- ・He likes soccer.

前回の反省(特定の子供だけが発言することにならないようにしたい、手を挙げていない子供への配慮をしたい、など)を生かそうと、さらに準備をして授業に臨みました。でも、小学生はこちらが考えている以上に成長(パワーアップ)していて予定通り進まないこともありました。一方で今回は、パワーポイントだけに頼るのではなく、ブラックボックス、ビンゴシート、そして身体のパーツといった手製の小道具をうまく利用しながら、子供たちの興味関心を引き出せました。それが子供たちとしっかりコミュニケーションがとれることにつながったと思います。今回は、国際理解コース2年生17名も同行して見学しました。3学期には、その生徒たちが教壇に立ちます。